

令和元年度 京都府立峰山高等学校弥栄分校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都府北部の中核校として、伝統を継承しながら高い理想を求め続け、地域に信頼される学校づくりを推進する。 ○ 教育スローガン（校是）、教育方針、教育目標及び求める生徒像の具現化のため、全教職員が一体となって取り組む。 ○ 全教育活動をとおして、生徒と教職員が共に成就感と感動を味わえる、明るくさわやかな学校づくりに努める。 	<p>[成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校評価アンケートでは、生徒・保護者ともに好ましい評価が得られた。 2 年度当初の1・2年生一斉家庭訪問や学習支援員によるサポート等の効果により年間をとおして落ち着いた学習環境を維持できた。 3 生徒会・農業クラブ・家庭クラブがよく機能し、学校祭・奈具丘祭をはじめとする学校行事の成功をもたらした。 4 弥栄分校独自の取組である「漢字学習」や資格取得・技能認定等の取組が充実した（学校外学修単位認定5名、教育長表彰4名）。 5 専門学科の強みを活かした地域連携や学校間連携を推進し、生徒の社会性を高めている。 6 各教科、「探求Ⅰ・Ⅱ」並びに特別活動の段階的な取組により、社会へのスムーズな接続が実現している。 7 支援が必要な生徒や困難家庭等の対応に際して、京丹後市・児童相談所等の関係機関や精神科医等の専門家との連携を進めた。 8 ホームページの更新を積極的に進め（年更新200件）タイムリーな情報発信に努めるとともに奈具丘通信の発行（年12回発行）など積極的な広報活動を推進した。また、新聞等に延べ35件掲載され弥栄分校の取組が広く地域の方にも発信できた。 <p>[課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 予習、復習、試験勉強など主体的な学習習慣の育成 2 遅刻・欠席防止指導の強化と好ましい生活習慣確立 3 家庭連携を重視した計画的・組織的進路指導の推進 4 自他尊重の気持ち・公共心の育成と人権感覚の醸成 5 特別な教育的支援を必要とする生徒への適切な対応 6 丹後通学圏の高校再編に係る準備とスムーズな移行 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の主体的な学びを促進する授業改善と「漢字学習」等を活用した学習習慣の定着 2 「探求Ⅰ・Ⅱ」、人権学習、特別活動、ボランティア活動の充実による自律性と社会性の育成 3 地域連携、他学科・他校との協働による専門学科教育の特色化並びに地域創生に資する人材育成と進路指導 4 家庭との連携を重視した教育相談及び特別支援教育の体制整備と個に応じた指導の充実 5 弥栄分校閉校を見据えた教育活動実施にあたっての工夫と新設高校開校準備への協力

※評価は4段階とし、A～Dの記号で表記する。

（A：十分達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：ほとんど達成できなかった）

評価領域	重点目標	具体的方策	評価		成果と課題
学習指導	生徒の学力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業週間や生徒対象授業評価を実施し、1年を通して授業改善に取り組み、わかる（丁寧に語りかけ、問いかける）授業を継続的に実施する。 ・シラバスを発行して学ぶ意義や方法を示すことで学習意欲を喚起し学ぶ姿勢を確立させる。 ・校内漢字テスト及び週末課題の取組を通して、家庭学習習慣と基礎学力を身につけさせる。 ・各教科からの長期休業中の課題を取りまとめて整理する。 ・学年と協力して試験前学習会を設定するなどして「勉強して試験を受ける」生徒を増やす。 ・不得意科目を持つ生徒に、振り返り学習・補習などで力をつけさせる。 	A	A	A
	授業規律の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ベル着を定着させ、50分の授業時間を生かす。 ・教室環境の整備、空き時間の校内巡回、生徒の状況把握等を行い、授業環境を整える。 ・生徒の教材準備点検週間を設け、授業開始前に教科書等を準備する習慣を身につけさせる。 ・学習支援員と協力して授業規律を確保し、主体的に授業に臨む生徒を増やす。 	B		
生徒指導	ルールとマナーを守る規範意識・道徳意識向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ、挨拶、入室マナー及び交通マナーを向上させる。 ・インターネットやスマートフォン使用に関するモラルとマナーについて向上させる。 ・遅刻者防止指導により朝の遅刻者を減らす。 	B	B	B
	生徒会活動の充実と部活動・ボランティア活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が生徒会活動や行事に積極的に取り組むよう指導する。 ・各分掌や各学科との連携を図り、ボランティア活動参加者の増加を目指す。 ・部活動の加入を促し、活性化を図る。 	A		
			A	A	
			A		
					<ul style="list-style-type: none"> ・1学期と2学期に公開授業週間を設け、合評会で活発な意見交換を行った。授業評価・シラバス発行もを行い、授業改善に取り組んだ。 ・校内漢字テスト及び週末課題を計画通り実施した。多くの生徒が週末課題に取り組んだ。 ・夏期休業中の課題についてとりまとめを行い、一覧にして配布した。 ・中間、期末とも試験に向けて補習を実施できた。 ・清新高校開校の為の工事の関係で、騒音、粉塵など授業を受ける環境としては最悪の状況であった。 ・3名の学習支援員にお世話になり、理解しにくい生徒へのサポートを手厚く行えた。
					<ul style="list-style-type: none"> ・朝の立ち番、巡回指導、学期に3回の頭髪・服装指導を実施した。また、一人ひとりにきめ細かな指導を行い、指導件数も半数近く減少した。 ・遅刻防止指導が機能せず、遅刻者の減少には至らなかった。 ・生徒会本部役員を中心に行事やあいさつ運動などに積極的に取り組んだ。部活動においても加入者が昨年度より20%増加し、3クラブで公式戦に参加するなど活発化してきている。

進路指導	3年生全員の進路希望の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・全員に個人面談を実施し、本人に進路を具体的に自覚させ、早めに必要な準備を促す。 ・担任、保護者、学科などと連携してより現実的な進路指導を行う。 ・関係機関と連携して、企業情報を的確に把握し、求人確保に努める。 ・就職、進学ともに応募手続きなど、常に早めを意識させ申し込ませる。 	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・4月下旬進路部員で分担して3年生全員と面談して、親子での話し合い、企業研究、オープンキャンパスへの参加（学校調べ）を促した。 ・3年担任と進路指導部で保護者面談の前後で進路希望情報を共有、進路指導の方向を確認した。 ・一部3年生就職希望者を就職指導の日程に乗せられず、最終的に2名が3月末時点で未定となった。 ・農園芸科、家政科で専門性を活かした校内外での研修があり、生徒の自己理解、視野拡大、職業理解につながっている。 ・2年生全員面談を実施、3年次に向けての意識向上を図った。
	1・2年生の進路意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各学科の取り組みと連携してキャリア教育を充実させる。 ・探求の授業の中で進路を意識した仕事調べ、プレゼンテーション、模擬面接の練習を行う。 ・2学期後半に幅広い進路学習を行う。 ・2年生全員の進路面談を1月～2月に実施することで、3年生になるまでに希望進路をしっかりと考えさせる。 	B			
人権教育	生徒・教職員の人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年ごとにテーマ設定を行ない計画的に人権学習を行う。 ・人権意識の視野が広がり、生徒理解につながる教職員研修に努める。 	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも計画的に人権学習を行うことができた。 ・外部講師による講演会を通して人権意識をより一層深めることができた。 ・人権侵害事象に教員間で連携し合い速やかに対応することで、早期収束に努めることができた。
	人権尊重の環境整備と人権侵害事象への迅速な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの違いを許容し、相互に人として認め合い、支え合うことのできる雰囲気作りに努める。とくに日頃の言葉遣いを意識する。 ・人権侵害事象に速やかに対応することで早期収束に努める。 	B			
健康・安全教育	健康保持のために必要な実践力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の健康状態を把握し、課題に沿った保健教育を進める。 ・各種講演会を通して、正しい知識を身に付け将来を見通した健康的な生活を考える機会にする。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康課題について実態把握はできたが、計画的な保健指導を行うことができなかった。 ・保健委員による立番を行い、こまめなゴミ捨てを呼びかけることによってゴミの分別と減量化が進んだ。 ・安全点検を実施することができなかったが、校舎改修によりこれまでの要望が改善されつつある。
	美化清掃活動の推進と学習環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・保健委員会によるゴミ減量化に向けて取組や学校周辺の清掃ボランティアにより、校内美化を推進する。 ・安全点検を実施し、改善の必要な場所を把握し要望する。 	B			

特別支援教育	配慮を要する生徒へのきめ細やかな組織的支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「気になる生徒」について早期に小会議（ケース会議）をもち対応を検討する。 ・生徒の課題について教職員間で日常的に共有し、学習支援員のサポート等組織的に行う。 ・特別支援教育に関する教職員研修を実施する。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議を持ち、生徒の状況や対応を早期に確認することができた。 ・教職員研修を3回実施し、生徒理解を深めることができたが、継続した対応の検討が必要である。
図書・情報活動	文化に親しむ心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の時間の設定や案内冊子・図書館だよりを発行し、図書館利用の活性化をはかる。 ・情操教育の一環として芸術作品に触れる機会を設定する。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより・立志を発行することができた。 ・芸術鑑賞は実施できたが、映画鑑賞は実施することが出来なかった。
家庭・地域連携	PTA役員と密な連携によるPTA活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動への参加を促し、活動を充実させる。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA役員を中心に活気あるPTA活動が実践されており、5月PTA総会(24名)、学校祭(88名)、会員研修(30名)の保護者の出席があった。 ・ホームページ情報更新260件と積極的な情報提供を行った。(1/20現在)
	ホームページの更新等、積極的な広報活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・校内からの情報提供を受け、授業・学校行事等に合わせてタイムリーに継続的に活用する。 	A			
専門学科教育	専門学科での学びを生かし生徒自身が主体的に行動できる力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びの姿勢を定着させるため、生徒の成功体験、達成感、充実感を意識した専門教育の充実を図る。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の特性に応じて実習や体験実習等を通して教育実践を行うことができた。教育長表彰は農園芸科4名で例年より少なく次年度への課題である。 ・地域や関係機関との連携、特に学科間での連携は充実することができた。 ・施設・設備等のハード面の更新等は進んでいるが、ソフト面では課題も多くあり十分ではなかった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域や関係機関との連携を図り、地域社会に貢献できる人材を育成する。 	A			
		<ul style="list-style-type: none"> ・専門学科の特色を踏まえた、新設校への円滑な移行と共存を行い、教育施設・システムの充実を図る。 	C			
普通教科教育	社会生活に必要な基礎学力と自ら考える力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒が意欲的に学習し、達成感を味わえるようなユニバーサルデザインの授業、また将来の職業選択に必要なスキルが身につくような具体例を多用する授業を行う。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大学受験を目指す生徒から、特別な支援を必要とする生徒まですべての生徒が、意欲的に学習し達成感を味わえるよう、ユニバーサルデザインを意識した授業を行った。 ・主体的・対話的で深い学びを体感する取組は不十分であった。 ・各学期毎に普通科会議を持ち、生徒の状況についての情報を共有した。
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士での意見交流や全体に向けての発表など、主体的・対話的で深い学びを体感する機会を増やす。 	C			
		<ul style="list-style-type: none"> ・普通科会議を定期的で開催し、生徒理解を深め組織的な指導を行う。 	A			

<p>学校関係者 評価委員会 による評価</p>	<p>○奈具丘祭に向けて見学したファッションショーの準備の取組においては、生徒たちが生き生きとした様子で取り組んでおり、こうした地域の方々に開放された行事（学校祭・奈具丘祭・あっスポットセール等）において、生徒たちの活躍が期待できる。</p> <p>○令和元年度は、新設高校の開設に向けて校舎の新築工事や弥栄分校校舎の改修工事等が進められているが、教室の配置換えや遠隔授業等さまざまな対応が工夫されている点は良かった。すべての生徒にっそう配慮をお願いしたい。</p>
----------------------------------	---

<p>次年度に 向けた改善の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導 ・学習習慣の定着と定期考査に向けた計画的な学習 ・不得意科目を有する生徒への重点的な指導 ○生徒指導 ・遅刻防止指導の徹底 ・ルールやマナーを守る規範意識の向上 ○進路指導 ・進路実現に向けた意識向上 ・2年時の進路指導の徹底 ・進路指導部と各担任との綿密な連携 ○人権教育 ・生徒及び教職員の人権意識の向上 ・日常の言葉遣いへの意識の向上 ○健康安全 ・生徒の有する課題に即した保健学習の徹底 ・将来を見通した健康的な身体作り ○特別支援教育 ・学習支援員との連携強化と組織的な対応 ○図書情報 ・図書館利用の活性化 ・映画鑑賞会の実施 ○家庭地域連携 ・PTA活動の活性化 ・広報活動のさらなる充実 ○専門学科教育 ・新設校への円滑な移行と共存 ・教育長表彰受賞レベルへの引き上げ ○普通科教育 ・主体的で対話的な活動を通じた深い学びの創造
--------------------------------	--